

1. 平成21年7月～9月期の景気動向

全業種のDI値の平均は、前回 51ポイントに縮小し、景気は底を打ったと思われたが、今回は 63ポイントと再び悪化しており、依然売上減少と、資金繰りを中心に厳しい状況が続いている。

| 業種 項目 | | 建設業 | | 製造業 | | 卸売業 | | 小売業 | | サービス業 | |
|---------------------|----|---|------------|---|------------|--|------------|--|------------|---|------------|
| | | 7～9月 | 10～12月 | 7～9月 | 10～12月 | 7～9月 | 10～12月 | 7～9月 | 10～12月 | 7～9月 | 10～12月 |
| | | 今期状況 | 見通し | 今期状況 | 見通し | 今期状況 | 見通し | 今期状況 | 見通し | 今期状況 | 見通し |
| 売上高 | | 67 (73) | 73 (67) | 67 (66) | 36 (61) | 80 (69) | 50 (70) | 63 (70) | 70 (70) | 67 (74) | 48 (54) |
| 採算 | | 60 (67) | 60 (53) | 58 (71) | 44 (56) | 80 (52) | 70 (42) | 56 (67) | 59 (65) | 59 (63) | 38 (56) |
| 資金繰り | | 43 (43) | 50 (57) | 52 (60) | 41 (57) | 20 (62) | 30 (59) | 37 (31) | 48 (35) | 31 (46) | 12 (38) |
| 業況 | | 67 (43) | 73 (57) | 66 (70) | 47 (64) | 70 (13) | 50 (67) | 56 (67) | 62 (65) | 58 (56) | 44 (46) |
| 経営上の 当面する 問題点 | 1位 | 官公需要の停滞 | | 需要の停滞 | | 需要の停滞 | | 需要の停滞 | | 需要の停滞 | |
| | 2位 | 民間需要の停滞 | | 製品(加工)単価の低下・上昇難 | | 販売単価の低下・上昇難 | | 消費者ニーズの変化への対応 | | 利用者ニーズの変化への対応 | |
| | 3位 | 請負単価の低下・上昇難 | | 製品ニーズの変化への対応 | | 代金回収の悪化 | | 購買力の他地域への流出 | | 店舗施設の狭隘・老朽化 | |
| 業種別 コメント | | <p>民官需要の停滞は、深刻な状況が続く兆しは見られない。調査項目の売上、採算、資金繰りは前回とほぼ同じ数値で推移したが、業況は前回の43ポイントから67ポイントと大幅に悪化した。</p> <p>冬場に向け、来季も更に厳しいと見ており、一層の経営改善策への取り組みが必要である。</p> | | <p>前期とほぼ同じに推移しているが、依然として売上減少に歯止めがかからず全業種にわたって厳しい状況は変わっていない。雇用調整助成金の導入やセーフティネットの融資等で厳しい経営に対応している状況が窺える。</p> <p>経営上の問題で新たに事業資金の借入難があげられており、益々厳しい経営が強いられる。</p> | | <p>全項目でDI値の回復は見られず、個人消費の拡大もしばらくは見込まれないため、業況の回復はまだ先と思われる。</p> <p>本格的な業況回復まで経営の維持、体力勝負の持久戦がまだまだ続きそうである。今後は年末に向けての資金確保が経営の鍵となる。</p> | | <p>資金繰りを除くDI値は好転しているものの、依然不況による厳しい状況が続いている。天候不順や雇用調整による生活不安から、中元商戦における消費意欲が低迷している。</p> <p>来期見通しでもDI値は大きな変化は見られず、需要の停滞から売上高など改善が見込めない状況である。</p> | | <p>お盆や夏季観光シーズンにより、利用者増加から全体的に若干改善の兆しに転じてきている。来期見通しでは、国体の開催や行楽シーズンなど気候的要因も手伝い、市外からの人的交流もあることから一層の改善が期待される。</p> | |

(68ポイント) から 51ポイントと縮小され、数値上は底を打ったかに見えるが、一部の業種で若干改善されているが、他の業種は資金繰り!



とくに好調
(50 DI)

好調
(25 DI<50)

まあまあ
(0 DI<25)

不振
(25 DI<0)

きわめて不振
(DI<25)

当所では分析にあたってD・I (好転したとする企業割合から悪化したとする企業割合を差し引いた値)を採用しました。

()は前回調査時のD・I値